

やまだんの 山田野

7

独立行政法人

国立病院機構 北陸病院

〒939-1893 富山県南砺市信末5963

TEL 0763-62-1340 FAX 0763-62-3460

年頭のご挨拶



新年明けましておめでとうございます。遠くの山にあった白い帽子が一夜で里に下りてきて見渡す限りの景色を覆いつくすベールに変わり、朝もやのなか散歩に出かけるといつのまにか鈍い光に包まれていました。夜が終わると朝が来るこのあたりまえに繰り返される一秒たりともとどまらない時の流れと、その中にありながら余りにもゆっくりとした変化で五感を通じてもわからない個の変化に思いをはせる、この瞬間生きていることを実感することができます。しなやかさと俊敏さを過信していた中で昨夏に交通事故に遭い、長く入院生活を余儀なくされたことで今年は特に元旦を無事迎えることができたことに改めて感謝したい思いを抱きました。一方、長い病床で連日人間の最高傑作をみることができた北京オリンピックの頃には姿を見せなかった大不況が年の暮れには全世界を覆うことになり慌てふためくその転変に驚かされています。



さて、当院は太平洋戦争中に陸軍傷痍軍人療養所として始まり、戦後に厚生省直属の結核療養所となり、昭和43年に精神科病院に転

換したのち重症心身障害、神経難病、認知症医療を順次加え、平成16年に独立行政法人化されて平成18年には国から医療観察法病棟を引き受けて現在にいたっています。その時々医療・社会情勢および政策にしたがっての変遷として医療対象も変化してきていますが、この間変わらなかったことまた今後に変えてはいけないこととしては当院の基本理念にも掲げてあるように全ての人に良心と誠意をもって医療を提供することだと思っています。そのためには職員全員が恕のころを大切に精進を欠かさずにその時々眼前の職務に精励することだと考えます。身の丈を思えば実行するにはなかなか困難なことが多いのですが、それができれば豊富な知識を得ること患者さん達からの貴重な経験を積むことができ何が起ころうとも全人的な個の存在を尊びながら自らの役割を淡々と果たせるのではないのでしょうか。相手のみになることは難しいのですが少しでも寄り添えればと思います。

少し硬い話になりましたが、生死の境がすぐそばにあることそして自分が生かされていることを改めて感じた年が過ぎるにあたり感謝と自戒の意をこめて年頭のご挨拶としました。

(副院長 坂本 宏)



職

場

紹

介

のページ

【ひまわり病棟】

ひまわり病棟は、定床40床の精神障害や行動障害をもつ重症心身障害児（者）病棟です。

病棟では、重い精神発達遅滞でいろいろな問題行動（興奮、拒絶、徘徊、自傷、自閉等）のため社会適応が難しく家庭生活が困難な方の適切な医療と療育を行い、身体症状の改善、情緒の安定、基本的生活能力の向上を図っています。

昭和51年4月に開設され、平成18年より障害者自立支援法を施行し現在に至っています。

病棟職員は、病棟医長を含め医師3名、児童指導員1名、保育士2名、看護師20名、看護助手3名、で医療・療育を提供しています。



病棟スタッフ

病棟の特殊性として、

1. 児童指導員や保育士とチーム医療による療育・生活援助を実施しています。
2. 身体疾患・問題行動に対する薬物療法と固定チームナーシングにおける看護展開を行っています。
3. 精神・運動・身体発達の成長と心身の安定を助け見守っています。
4. 安全で安楽な日常生活の援助と生活の質を上げるように日々努力しています。
5. 問題行動を持った行動障害の患者様が多く、けがの無いように安全に入院生活を送ることができるような環境を提供して

います。

6. 音楽療法・運動療法を取り入れたグループや個別での療育を実施しています。
7. バスハイクや運動会等の行事や月1回家族との交流の場を設けています。



面会日

8. 言語によるコミュニケーションがとりにくいため、看護者の観察力・洞察力が要求されます。



合同運動会

私達はこれからも、患者様を尊重し、家族の方からも信頼されるひまわり病棟でありたいと考えています。

（師長 井上 桂子）

実践さながらの防火・避難訓練

患者さまの安全を守るため、防火訓練を城端消防署立会で年2回実施しています。12月10日には医療観察法病棟（6病棟）の防火・避難訓練を行いました。火を出さないことが一番大事なことですが、万が一の場合を想定して常に素早く実戦行動ができる体制を心掛けています。

（企画班長 吉岡 克）



無断退去訓練を実施して

当院は政策医療の3分野『精神疾患、神経・筋、重症心身障害』を担い、この機関誌の職場紹介であったように6つの病棟があります。詳しく知りたい方は山田野をもう一度。

入院患者様方には、個々の病状や障がいに応じて多職種によるチーム医療を提供し、病棟内はもちろん病棟外での作業療法、屋外レクリエーション、ショッピングなどなど社会復帰にむけた治療を行っています。またご家族、地元住民の皆様のご理解と協力を得て、外出・外泊訓練も積極的に行なっております。当院の医療の特殊性から、安全な医療環境の中で患者様に安全で質の高い適切な医療を提供することが私達の使命です。病院として万全の

医療体制をとっていますが、万が一、患者様の無断退去（患者様が無断で病棟外または病院建物外に出ること）が生じた場合は、迅速に対象患者様を安全に救護することが急務となります。そのため全職員を対象として、患者様の特性に応じた無断退去発生を想定したシミュレーション訓練を計画し定期的を実施しています。この訓練を通して、医療安全に対する組織体制づくりの見直しや職員の医療安全への意識を高めていくよう努力していきたいと思っています。今後とも地元住民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

（医療安全管理者 水上 礼子）

外来担当医表

項 目	月	火	水	木	金
精神科・神経科（初診）	市川	坂本	白石	石崎	岡本
精神科・神経科（再診）	石崎	白石	岡本	市川	村田
神経内科	小竹	小竹		小竹	小竹
内 科	渡辺	渡辺	渡辺	荒幡	渡辺
専 門 外 来	睡眠（初診）		古田	古田	
	睡眠（再診）		竹内	古田	細川
	神経難病	●受付・診療時間・・・8:30～11:30 診察は全て予約制となっています。 睡眠外来ではセカンドオピニオンも実施しています。 地域医療連携室にご相談ください。 【地域医療連携室 直通電話】 0763-62-1950			
	重症心身障害				
	アルコール				
	もの忘れ				
	ストレスケア				

看護師・看護助手募集中！

お気軽に総師長室まで
ご連絡ください。



療養生活の楽しいひととき

入院患者さまに少しでも楽しい療養生活を送っていただくために、運動会、盆踊り会、文化祭、クリスマス会などさまざまなイベントをスタッフ一同で企画しています。

写真は11月6日～7日に行われた、文化祭の一コマです。ボランティアグループ「笠舞乱華」「はまゆうの会」「きさらぎの会」「ナントハーモニー」による民謡や演奏そして「東部小学校」6年生75人によるリコーダーや和太鼓演奏、寸劇、組み体操などを元気に披露してくれました。



【交通アクセス】

◆交通機関

JR 城端線、城端駅より、タクシーで約5分。

◆高速道路

東海北陸自動車道、福光ICより約5分。

◆南砺市コミュニティバス

JR 城端駅・福光駅より出ています。



独立行政法人 国立病院機構 北陸病院

〒939-1893 富山県南砺市信末 5963

TEL 0763-62-1340 FAX 0763-62-3460

ホームページ <http://www.hosp.go.jp/~hokuriku/>

【編集・発行】北陸病院

【広報担当】石崎・吉岡・前田・寺井